

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設 の 名 称	宮城県仙南総合プール
指 定 管 理 者 の 名 称	セントラルスポーツ株式会社
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	企画部スポーツ振興課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成24年4月～平成29年3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成29年4月～令和4年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	
令和4年4月～令和9年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	セントラルスポーツ株式会社
	所在地	東京都中央区新川一丁目21-2茅場町タワー2階
指 定 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県仙南総合プール(ヒルズ県南総合プール)	
所 在 地	柴田郡柴田町大字本船迫十八津入地内	
設 置 年 月	平成11年4月	
根 拠 条 例 等	総合運動場条例	
設 置 目 的	スポーツ普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	22,588.03㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建
	内 容	温水プール、トレーニングルーム、スタジオ、会議室
開 館 ( 所 ) 日	休館日(毎週水曜)及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日	
開 館 ( 所 ) 時 間	平日:午前9時から午後9時まで 日・祝日:午前11時から午後7時まで	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1、施設全体の管理運営業務 2、施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3、施設の使用制限及び入場の拒否等に関する業務 4、施設の機械設備操作・日常点検業務 5、施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6、その他施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前年度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
開館(所)日数	309 日	307 日	309 日	100.0%	100.7%
延べ利用者数	40,117 人	10,592 人	30,590 人	76.3%	288.8%

  

(2) 延べ利用者数の内訳					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前年度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
プール	31,701 人	2,759 人	22,582 人	71.2%	818.5%
トレーニングジム・スタジオ	7,689 人	7,580 人	7,501 人	97.6%	99.0%
会議室	727 人	253 人	507 人	69.7%	200.4%
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
合 計	40,117 人	10,592 人	30,590 人	76.3%	288.8%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 <span style="float: right;">(単位:千円、%)</span>					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前年度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
県指定管理料	30,600	30,600	30,600	100.0%	100.0%
利用料金収入	8,937	1,736	6,541	73.2%	376.8%
その他(自主事業・休業補償)	42,440	31,174	21,047	49.6%	67.5%
収入計 (a)	81,977	63,510	58,188	71.0%	91.6%

  

(2) 支出					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前年度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
人件費	23,205	21,941	21,739	93.7%	99.1%
施設管理費	34,813	22,011	32,353	92.9%	147.0%
事業運営費	2,605	2,310	2,205	84.6%	95.5%
その他(自主事業)	21,730	14,166	14,912	68.6%	105.3%
支出計 (b)	82,353	60,428	71,209	86.5%	117.8%

  

(3) 収支					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
収 支 (c)=(a)-(b)	-376	3,082	-13,021	3463.0%	-422.5%
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

5-2. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
自主事業収入	42,440	8,171	18,396	43.3%	225.1%
その他		161	210	-	130.4%
				-	-
収入計 (a)	42,440	8,332	18,606	43.8%	223.3%

(2) 支出

人件費	16,524	12,881	11,598	70.2%	90.0%
事業運営費	4,429	955	2,929	66.1%	306.7%
販売品仕入	165	14	26	15.8%	185.7%
諸経費	612	317	359	58.7%	113.2%
支出計 (b)	21,730	14,167	14,912	68.6%	105.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	20,710	-5,835	3,694	17.8%	-63.3%
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

6. 評価対象年度(令和5年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者の安全管理を最優先に、人員配置の適正化を図りました。</li> <li>県民の方々の健康増進のため、施設サービス提供の安定化を図りました。</li> <li>不意のプール休業に対し、設備早期復旧に努めました。</li> <li>労務費及び管理費の適正化を図りました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>プールを中心に各エリア巡回監視を強化し繁忙期における人員増など、安全管理に努めました。</li> <li>施設状況の把握、関係各所との情報共有を迅速にし、安定運営に努めました。</li> <li>人員配置、就業時間の見直し、水光熱使用量の把握など無駄のない管理運営に努めました。</li> </ul>		A	休館期間中の就業時間見直しなど、適切な調整・人員配置を行い、効果的な管理運営体制が図られている。	A
人員体制	正規	3人	非正規	16人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年での設備メンテナンスを進め、機器の安定運用を図りました。</li> <li>4、5月に及んだプール再開作業、12月のプール昇温ポンプ故障復旧作業、1月末のプール設備再故障において、早期復旧に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>設備メンテナンスを計画的に行い、都度不具合箇所の整備に努めました。</li> <li>日常的な目視による設備巡回、始業終業時における確認体制から、異常の発見に努めました。</li> <li>不具合箇所の修繕を進め、利用環境の向上に努めました。</li> <li>植栽剪定、草刈りを定期的に行い施設美化に努めました。</li> </ul>		A	日常的な保守点検はもとより、施設・設備等の不具合の際には、県との迅速な情報共有が図られている。プール設備の度重なる故障等にも対応し、施設の早期復旧に努めた。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>プールにおける一般利用、団体利用を適切に区分けし提供いたしました。</li> <li>サービス業における、接客レベル向上を目指し研修を実施いたしました。</li> <li>利用チケットや金銭授受を適正に処理し、厳密に管理いたしました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の団体に偏らない、平等な利用環境の提供に努めました。</li> <li>スタッフの言動、表情、知識の向上に努めました。</li> <li>繁忙期や時間帯に応じ、スタッフ配置の適正化による利便性の向上に努めました。</li> <li>利用チケット及び金銭管理にスタッフ多重確認により、適正な管理に努めました。</li> </ul>		A	接客レベル向上のための研修を実施するなど業務運営の適正化に努めた。一方、利用料の減免の取扱いについて、一部認識の誤りがあったことから改善を要する。	B
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール成人運動・泳法プログラム、キッズスイミングスクールの実施。</li> <li>スタジオ成人運動プログラム、キッズ体育、キッズチアダンスの実施。</li> <li>トレーニングエリア利用サポートの実施。</li> <li>朝活としてショートレッスンの実施。</li> <li>キッズ体育強化練習会の実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>長期プール休業、大規模改修工事を控えた影響により、会員数が令和4年1月プール休業前に対し52.2%となりました。</li> <li>定期的なプログラム見直しを行いました。</li> <li>スタジオにおける、成人運動プログラム、キッズ体育、キッズチアダンスなど利用状況は堅調に推移いたしました。</li> </ul>		B	プール営業の長期休館に伴い、会員数が大幅に減少したものの、復旧後には休館以前まで実施していたキッズスクールを再開している。また、スタジオ等を活用し、子ども向けの体育教室を行うなどプール以外の施設でも可能な限り事業を実施している。	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者サービスの一環として、各種情報の発信に取り組みました。</li> <li>館内外の美化推進を継続し、安全で清潔な利用環境の提供に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>柴田バイパス沿い看板の更新、HP、GoogleMap、館内掲示、柴田町広報等の活用にて情報発信に努めました。</li> <li>トレーニングエリアマット、ラウンジソファの更新など、利用環境向上に努めました。</li> <li>ワーケーション認定施設のため、専用スペースは確保しております。利用促進についてはWi-Fi設置を今後検討いたします。</li> </ul>		A	利用者からの要望・意見に可能な限り対応し、利用者サービス及び利用者満足度の向上を図っている。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付、ご意見箱にて、都度苦情や要望の把握に努めました。</li> <li>弊社カスタマーサービスによる、メール対応を活用いたしました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>プール再開、施設大規模改修工事についてのお問合せには、都度丁寧にご案内に努めておりました。</li> <li>利用マナー向上の周知啓蒙を行い、利用者へ寄り添ったご案内に努めました。</li> <li>通年において利用者のご理解をいただきながら運営を行いました。</li> </ul>		A	施設休館、再開、設備故障による臨時休館など、利用者から苦情等多く寄せられたが適切に対応していた。	S
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>出勤時のスタッフCPR訓練、定期的な消防避難訓練、消防署へ依頼したAED・CPR訓練など、安全管理体制の構築を図りました。</li> <li>自主事業スクールバスの降車確認を徹底いたしました。</li> <li>館内巡回により不審者や設備不具合箇所の発見に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な訓練、毎月の安全研修(CPR・AED)、消防避難訓練(2回/年)を実施し、不測の事態に備えました。</li> <li>スクールバス降車確認は多重確認にて確実に実施いたしました。</li> <li>不審者の発見、不適切な利用方法へのご案内、利用導線や衛生設備の不具合について、適宜対応に努めました。</li> </ul>		A	CPR(心肺蘇生法)トレーニングを義務化し、職員の研修機会も増やし、緊急時に備えている。その他、災害発生時や不審者等の事案にも備え、利用者の安全対策を図っている。	S
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設情報を適切なツールを用いて、適宜発信に努めました。</li> <li>各世代の利用に応じたご案内と、施設整備を進めました。</li> <li>一部の利用者に偏りが生じないよう、各所に配慮しながら運営をおこないました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>県民の方々の利便性向上の一環として、ネットを活用した情報発信に努めました。</li> <li>一般利用、団体利用、自主事業など、それぞれが適切に行えるよう、プール貸切やレーン設定などバランス良く配置いたしました。</li> </ul>		A	貸切利用の予約状況など、適時HPからの情報発信に努めている。既存の施設を有効に活用し、利用者の個別の状況に応じ、弾力的に対応している。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	・弊社マニュアルによる、スタッフ研修を定期的実施いたしました。 ・個人情報の文書管理を適切に取り扱いました。	・コンプライアンス研修、個人情報保護法研修を全スタッフに実施し、確認テストにて理解を深めました。 ・個人情報に関する書類などは、鍵付き金庫及び書庫、パスワード設定によるパソコンにて適正に管理いたしました。	A	個人情報に係るマニュアルの整備や職員教育等により、情報の漏えい、き損及び滅失の防止に努めている。	A
⑩利用実績	・前記「4施設利用実績」の通り。	・延べ利用者数30,590名、新型コロナウイルス感染症の移行措置及び、プール再開により利用復調の兆しが見られました。 ・トレーニングジム、スタジオ利用は概ね計画通りとなりました。	A	令和5年5月下旬からプール施設が再開したことに伴い、前年度よりも利用者が増加している。しかしながら、設備故障により令和6年1月下旬より再度休館となっていることもあり、休館前の利用実績には戻っていない。	A
⑪収支実績	・前記「5管理運営収支実績」の通り。	収入 ・対計画比 -23,789千円(70.1%) ・対前年比 -5,322千円(91.6%) 支出 ・対計画比 -11,144千円(86.5%) ・対前年比 10,781千円(117.8%) プール再開により、支出において対前年比が管理費用増となりました。	B	令和5年5月下旬からプール施設が再開したことに伴い、前年度よりも利用者が増加し、利用料収入も増加している。しかしながら、設備故障により令和6年1月下旬より再度休館となっていることもあり、休館前の実績には戻っていない。また、指定管理料を含めた収入額は、支出額を下回っている状況にあることから、再開後は安定した収支体制が求められる。	B
⑫その他の取組	・柴田町教育委員会より、中学生の職場体験を受入れ。 ・柴田町中学校の授業利用を受入れ。 ・柴田町主催イベントへチアダンスの参加。 ・AS競技大会の開催。 ・弊社体操競技大会へのキッズ参加 ・環境取り組みにグリーン購入品の推進。	・柴田町行政との良好な関係を継続し、地域健康増進のため多角的に寄与しております。 ・地元イベントや、競技会への参加から、施設の効果的な宣伝につながりました。次年度以降も継続参加にて施設宣伝に努めます。	A	プール施設としての役割のほか、町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民に開かれた施設として積極的にPRしている。	A
総合評価		プール再開にあたり、利用者の安全を最優先とし、適切な人員配置及び施設設備管理に努めました。県民の方々により開かれた施設を目指し、周知活動にも努めました。次年度に向けた施設大規模改修工事を無事に終えた際には、往時の賑わいを取り戻し、仙南地域における健康増進の拠点として、その役割を担えるよう引き続き精進して参ります。	A	仙南地域におけるプール施設管理者として、適正な管理運営を行っている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	施設設備の経年劣化が筆頭課題となりますが、次年度にかけ、施設大規模改修工事、付帯設備や備品等の更新が予定されております。宮城県の出向職員の皆様と連携を密に、その遂行に努めます。スタッフ高齢化に伴う懸念は、粘り強く人員を確保し、令和7年度に向けた体制を整えます。施設利用者の増加、自主事業会員回復を目指し、施設の発展に努めて参ります。	令和6年度はプールが大規模改修工事により長期休館となることから、利用料収入の減収が見込まれる。これまで度重なる設備の故障が発生したが、再開後は長期休館となるような故障が発生しないよう、設備の予防的な修繕を図ってゆく体制が求められるところである。